



臨床検査の 自動化とともに

日本臨床検査自動化学会業務会

JAPAN SOCIETY FOR CLINICAL LABORATORY AUTOMATION

CONTENTS

JSCLA 創成期の経緯	1
JSCLA 20年をふりかえって	2
日本臨床検査自動化学会 展示会 年表(1)	3
日本臨床検査自動化学会 展示会 年表(2)	7
出展会社と来場者の推移	15
担当業務委員一覧	16

臨床検査の自動化とともに

日本臨床検査自動化学会会長 茂手木 皓喜

1988年9月8～10日、第20回記念日本臨床検査自動化学会大会が、神戸国際会議場ならびに国際展示場で開催される運びとなったことは、関係者一同大きな喜びとするところです。本学会が自動化研究会として正式に発足したのは1969年で、学会と改称したのは1977年で、通算して今年は20年目になるわけです。さてここで本学会の創成の経緯について簡単に紹介したいと思います。

1953年に Skeggs によりオートアナライザーが開発され、わが国にも1957年に導入されました。このオートアナライザーがわが臨床検査領域に与えた影響は大きく、正に革命的と評価され、世界各国の検査の自動化を刺激しました。わが国においては当時ようやく臨床検査の重要性がみとめられ、相づく中央検査室の設立、それに伴う検査件数の増大は目をみはるものがあり、その対応に各施設とも苦慮しておりました。特に件数の多い血糖、尿素窒素、Na、K、Clなどは実用的な大量処理の方法がなく、人海戦術で処理するのがやっとでした。オートアナライザーの応用によりこれらの悩みは一挙に解決しました。1時間あたりの検査件数が40～60件で、当時にしては画期的なものでした。オートアナライザーの有用性、効率性は広くみとめられ、2～3年で10数台に達しました。そして、その方法、試薬、メンテナンスなどを含めて、いかに有効に使用するかを検討、討議するため1961年にユーザーの有志がオートアナライザー研究会を組織し、年3～4回の会合が持たれ、この研究会が本学会へと移行したわけです。本研究会の運営は本機の輸入元であるアメリカンコマーシャル社（現、アムコ社）の支持を得ました。本研究会は有志の会合から進展して、徳島、新潟などで行われた日本臨床病理学会でのナイトセミナーにも参加するようになりました。オートアナライザーは周知の如く連続フロー方式の機器で、当時のわが国においては唯一の自動分析機でしたが、1963年ごろよりディスクリット方式の機器が開発輸入され、実用の段階に達するようになりました。そして、オートアナライザーと同様、これらディスクリット方式の機

器も検討、討議の対象として、オートアナライザー研究会を発展的に解消して、臨床化学自動分析研究会を1965年に発足させました。そして1968～1969年、わが国においても日立、東芝、オリンパス、日本電子などがディスクリット方式の機器の開発をはじめ、自動化の関心は深まり、生化学検査領域以外の自動化機器も登場してきました。オートアナライザーによる免疫学的検査、血球計数機、それに日科機や東亜医用電子による血球自動計数機などです。このように生化学以外の自動化機器の臨床検査への導入時期に合わせて臨床化学自動分析研究会を解消して、1969年、臨床検査自動化研究会を発足させました。

そして第1回の全国大会を東京の番町共済会館で開催しました。機器の展示業者は5社で、ロビーや楽屋に展示されたのを覚えております。参加人員は200人位だったと思います。

この第1回を境に、また時代の要望とマッチして自動化機器の開発、研究、普及はめざましく、今日の隆盛へと邁進してきたわけです。

さて研究会の運営ですが、会員数も少なく収入もわずか、展示業者の御協力でまかなっておりましたが、その展示料集めが一苦勞で、担当委員が各ブースをまわってその場で協力金を得ておりました。ある年などは電気料を考慮しなかったのも、後になって請求され赤字になったこともありました。

その後本研究会は、その性格からいって産学協同での運営が望ましいとの機運が高まり、第5回目から展示業務委員を選任し、学術大会委員と協同で運営にあたることとなり、展示業務委員会が発足しました。

第1回の委員代表は東芝メディカルの今井省吾氏で、がっちりした展示業務会の会則を作成され、それにしたがって以後の展示業務がスムーズに行われるようになったことは周知のところでは。

そして会員の強い要望もあり、1981年日本臨床検査自動学会（Japan Society for Clinical Laboratory Automation、略名JSCLA）として今日に至っております。以上簡単ですが学会の創立時の経緯をのべました。

JSCLA 20年をふりかえって

日本臨床検査自動化学会業務会

日本臨床検査自動化学会、並びに展示会は今年で第20回目を迎えることになりました。特に当展示会につきましては、この20年間に幾多の困難を乗り越えて、大きく発展して参りました。これは当展示会を指導していただいた学会の諸先生がた及び出展頂いた各展示会社の絶大なるご協力の賜ものであります。

近年の医療の発達、臨床診断医学分野の目覚ましい発展による検査機器、試薬の進歩、普及に負うところが極めて大きいものであります。この検査機器・試薬の普及を目的とした当展示会は、昭和44年に発足した日本臨床検査自動化研究会JSCLA（昭和56年日本臨床検査自動化学会と改称）の産学協同の実を結ぶ為に、併催されて参りました。

当展示会の運営は、当初は学会の先生方の手で行われて参りましたが、第5回（昭和48年）大会時に、当時の日本臨床検査自動化研究会の協力組織として業務会が組織され、展示を担当するようになりました。

業務会の構成は、検査機器、試薬を製造・輸入・販売する企業からなっており、本年9月1日現在 116 社が加盟しています。展示会に参加の企業は、第1回大会（昭和44年）は僅か5社でしたが、今回の第20回記念大会には 100 社が参加するまでに発展いたしました。展示会場の規模も、当初は学会場の廊下などを利用しておりましたが、第5回大会（昭和48年）のとき展示会社が50社を超えたのを機会に都立産業会館（当時大手町）を使用することになりました。その後、展示会社の増加にしたがって、大きな会場へと移り、現在の科学技術館（東京・北の丸公園）および、国際展示場（神戸ポートアイランド）を会場といたしております。また第8回大会（昭和51年）から参加者への便宜をはかって展示目録を作成し、展示機器・試薬および出展会社紹介を行って、臨床検査分野にたずさわっている方々の参考に供しております。ここに本展示会の第20回という大きな節目に当り、20年をふりかえって、年表とそのときどきの関連事項を並記し、皆様方が当時の想い出の糸口となるようにと思い小冊子を作成した次第であります。

日本臨床検査自動化学会 展示会 年表(1)

	大会長	展示会場	出展 会社数	入場者数	学会一般 演題数	一般演題からの話題の機器				備考
						生化学	血液	免疫	細菌	
第 1 回 1969(昭44)	榎田 良精	番町共済会館	(社) 5	(人)	16	バイユニカム AC-600 Auto Chemist 日立M-400, SMA ^{12/60}				●オートアナライザー研究会、臨床化学自動分析研究会が発展的解消して本研究会が発足。
第 2 回 1970(昭45)	榎田 良精	日消ホール	11		33	オリンパスACA Clinalyzer System オートラフ Hycl Mark X	血小板計数			
第 3 回 1971(昭46)	榎田 良精	全共連ビル	22		29	Vickers MC300 Zymat340 ロボットケミスト	東亜自動血球計算器			
第 4 回 1972(昭47)	奥田 清	大阪OMMビル	32		52	LAC-060-00 ENZYMAT	Coulter Thrombocounter			●展示会で赤字が出て、世話会で負担した。 ●学会が組織化される。
第 5 回 1973(昭48)	石井 暢	都立産業会館 (大手町)	51	1,800	57	SMAC、 GEMSAEC FAST ANALYZER Centrifichem System Roto Chem II	Hemalog Coulter Counter Model S			●展示業務会が発足。 ●国税庁で印紙免除の許可を得る。
第 6 回 1974(昭49)	茂手木皓喜	都立産業会館 (大手町)	55	2,000	53	二波長測光法(日立701) ABA-100 Du pont aca				●酵素を利用した臨床検査薬の開発が盛んになる。 ●アルバイト女性にユニホームを着せる。
第 7 回 1975(昭50)	熊原 雄一	大阪国際見本市会館	54	2,200	76	Olli-3000 AKES Greiner Selective Analyzer GSA-II				
第 8 回 1976(昭51)	春日 誠次	都立産業会館 (大手町)	49	2,300	80	HMA-1600 Flieger 240R HI-STAT700 JCAシリーズ	東亜CC-710 コーニング白血球自動分類 HEMATRAK			●展示目録を作成し参加者への便宜をはかる。
第 9 回 1977(昭52)	斉藤 正行	都立産業会館 (大手町)	65	2,400	72	TBA360, ACA601 JCA-SI6, 日立716 Hycl Super17, RaBA-Super クリニラブ(尿), 日立678(尿)	Hemalog D COAGULATION ANALYZER600 CLOT DIGITIMTE 20 FIBROMAT, COAG-A-MATE			●臨床化学会と合同の展示会を行う。
第 10 回 1978(昭53)	榎田 良精 茂手木皓喜	都立産業会館 (大手町)	62	2,400	123	Lactate Analyzer, JCA-H2C4R Gilford3500 System, Gemeni ILMCA-III, Coulter Chemistry NIKON エンザイム アナライザー	Cell analyzer, Microx, Colysagraph, Coagulometer, Biomatic2000 Micro-Coagulometer	Laser Nephelometer	Bactometer	

	大会長	展示会場	出展 会社数	入場者数	学会一般 演題数	一般演題からの話題の機器				備考
						生化学	血液	免疫	細菌	
第 11 回 1979(昭54)	林 長蔵	大阪国際見本市会館 大阪商工会議所ビル	81	2,800	175	CL-720, CL-700, 日立726, 日立706, Abbott VP, KDAモニター, TBA880, Microlyzer, オリンパス6000R ユリフレット(尿), クリニテック(尿)	ELT-8, Coulter Counter S-plus, HAEMA-COUNTER, ULTRA-FLO- 100, Diff-3, Coag-stat, Lancer-Coagulyzer	Laser-Nephelometer ZD801A		
第 12 回 1980(昭55)	大森 昭三	科学技術館	88	2,900	133	COBAS-BIO CL-12 LKB-2086型MK II			自動細菌検査装置 MS-2 シ ステム Autobac MTS	●都立産業会館(大手町)が 閉館になり科学技術館に 移る。
第 13 回 1981(昭56)	清瀬 闊	科学技術館	82	3,300	147	テクトロンXA, グライナーG-300 JCA-VS100, ABA200, TBA580, 日立705, Hycel M, パラレルア ナライザー, ビタトロンXYP	ABSP(Automatic Blood Snear Processor), CC-800, CC-720 Baker 810	Behring Laser Nephelometer ベックマン イムノ ケミストリーシステム Hyland DISC120 System	Pregram GLC Auto-Microbic System	●日本臨床検査自動化学会 と改称。 ●業務会の東西一本化。 ●コマーシャルセミナーを設け、注目 される機器の話題提供を始める。
第 14 回 1982(昭57)	馬場 茂明	神戸ポートアイランド 国際展示場	93	3,300	136	AUTOA _{ic} TM, HA-8110(HbA _{1c}) CL-30, オリンパスAu500, Dry Chemistry(フジ, エクタケム, セラライザー) KID301改良型ZD-40	Coagmaster, PDA-410 CELL DYN800, Coulter S Plus II, ELT-800, THMS(H-6000), Hematrak	LA-System LPIA-System TDX-System		
第 15 回 1983(昭58)	高原喜八郎	科学技術館	94	3,500	170	日立736, JCA-VX1000, オリンパ スACA8000, SSR(オイルテクノ ロジー), GEMSTAR, アンコール Urine Glucose, Auto & STATUG1121(尿)	Coatron CA100	Syva System AC-5000	Vitek AMS-120GPIシステ ム Dynateck Microfluor System	●コマーシャルセミナーを ナイトセミナーと改称。 ●台風が来襲し展示時間1 時間くり上げる。
第 16 回 1984(昭59)	丹羽 正治	科学技術館	95	3,600	188	TBA-80S 480, 日立723, JCA VS500, ASTRA-8 CL-20, Gilford Im-pact 400	E-5000 Flow Cytometry Biomatic B-10 STRATUS	レーザーコアグロメータ LC101		
第 17 回 1985(昭60)	山崎晴一郎	神戸ポートアイランド 国際展示場	88	3,500	186	COBAS-FARA, Au-5000, Dry-chemistry (フジドラ イケム, エクタケム, レフロ トロンシステム)	CC-780, 日立806, オムロンHEG-AS Coag-stat Auto II Aggrecoorder II	ES22 EL-1000 MARCENTIA MR36	COBAS BACT	●今井省吾氏(東芝メディ カル)、顕彰される。
第 18 回 1986(昭61)	山中 学	科学技術館	95	3,600	192	CL-7000, 日立7050, VISION System, COBAS MIRA, TBA-60S, JCA-RX30 スーパーオーションアナライザー(尿)	コアグAメイトX ₂ 型, デュアルチャンネル型, CA-4000, E-4000, Coulter S-plus IV, THMS/H-1	LA-2000, LPIA300, PAMIA10, BNA, PK300	自動細菌同定システム ATB32GN	●ナイトセミナーをイブ ニングセッションとして学 会プログラムに入れる。 ●榎田良精先生逝去(61.2.16) ●学会場(教育会館)に右翼乱入。
第 19 回 1987(昭62)	水田 亘	神戸ポートアイランド 国際展示場	94	3,800	221	Paramax, Assist, Dimension380, YELLOWIRIS(尿) Dry chemistry(京都第一)	日立8200, LC-114 Coulter S-plus STKR, M-2000, Thronbostat4000 FASTEC901	Array Protein System HC-100	MICRO SCANシステム	●イブニングセッションを 機器試薬セミナーと改称 する。
第 20 回 1988(昭63)	茂手木皓喜	神戸ポートアイランド 国際展示場	100		213					

日本臨床検査自動化学会 展示会 年表(2)

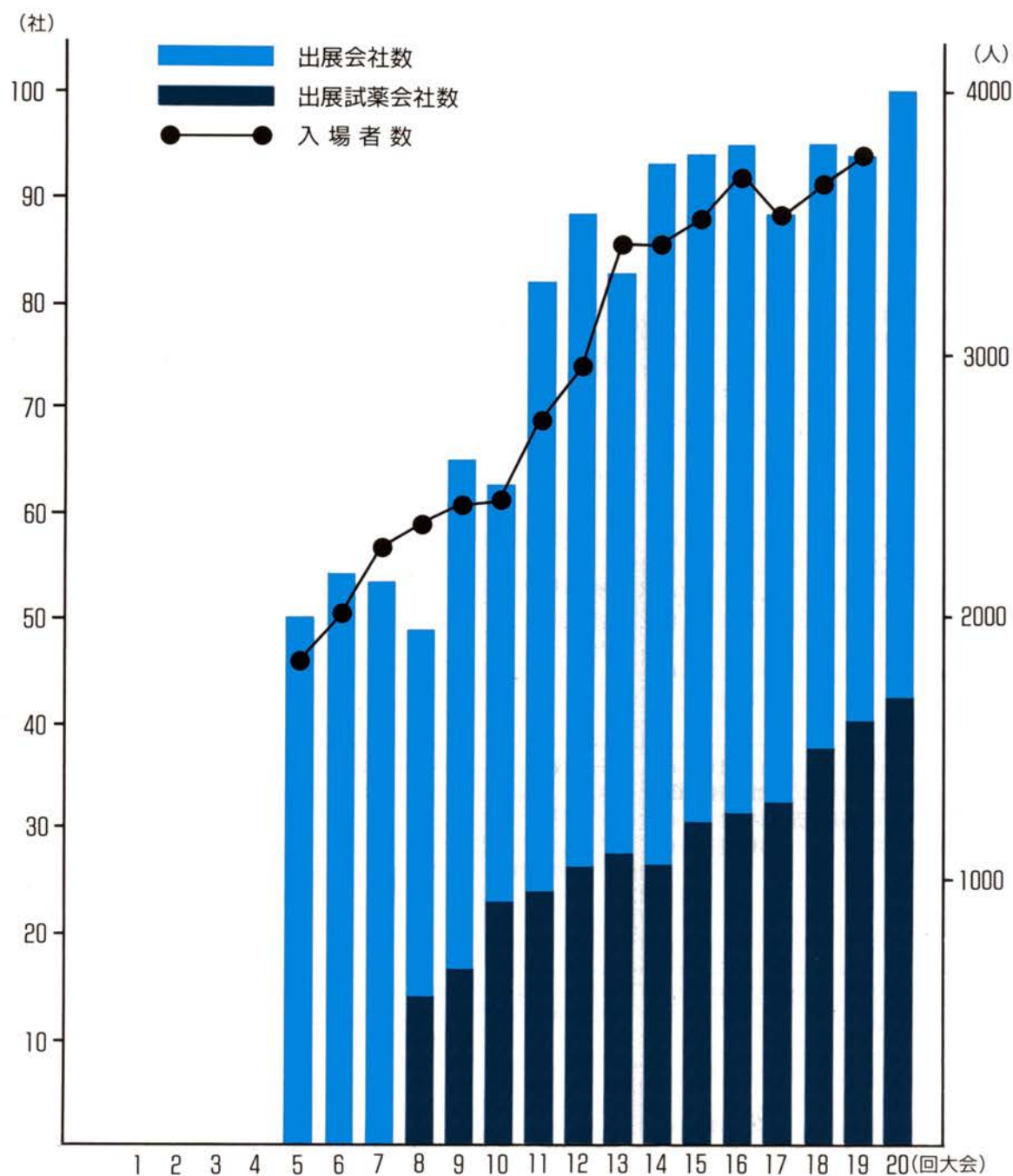
大会年度	科 学 技 術	医 学 ・ 医 療	一 般 社 会	出 版 物	ヒット商品	流 行 語	テレビ・映画 ヒットソング
第 1 回 1969(昭44)	●原子力船むつ進水式。 ●アポロ1号月面に着陸。 ●旧国鉄技術研究所、超電導方式のリニアモーターの研究開発スタート。	●人工甘味料チクロの有害性が判明し、全面使用禁止。	●安田講堂事件 学園紛争沈静化。 ●初の公害白書発表。 ●東名高速道路全通。 着工(537.5)東京～西宮536.4km	知的生産の技術 (梅棹忠夫) 赤頭巾ちゃん気をつけて (庄司薫)	セイコー・クォーツ (水晶腕時計)	●エコノミックアニマル ●断絶 ●やったぜベイビー	●ローズマリーの赤ちゃん ●男はつらいよ ●橋のない川 ●黒ネコのタンゴ(皆川おさむ)
第 2 回 1970(昭45)	●国産初の人工衛星「おおすみ」打上げ。 ●アメリカでテレビ電話の営業開始。 ●全機能にICを用いたシステム370 (IBM)を発売。	●スモン病の原因には整腸剤キノホルムが関係と発表。 ●臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律公布	●日本万国博覧会開幕。 「人類の進歩と調和」6,420万人入場。 ●日本の呼称を「ニッポン」に統一。 ●第11回国勢調査 104,665,171人。 世界第7位。 ●公害関係14法成立。 公害問題多発。	公害の政治学 (宇井純) 未来の衝撃 (A・トフラー)	サントリーオールド 二本著作戦	●生活がかかっている ●しらける ●おぬしやるな	●トラトラトラ ●戦争と人間 ●走れコタロー(山本コウタロウ)
第 3 回 1971(昭46)	●インテル社(米)が汎用マイクロプロセッサ4004を開発、今日のパソコンブームの基礎を築く。	●平均寿命、男69.22才。女74.71才。 ●戦後2回目のベビーブーム197万5,000人出生。 ●臨床検査技師第1回国家試験実施。	●国際石油資本各社、日本石油各社に原油の値上げ通告。 ●ニクソンショック。ドル防衛のための新経済政策発表。暫定的円の変動相場制移行。1\$=360円固定相場制終る。1\$=308円(46.12.20) ●中国の国連復帰決定。 ●環境庁発足。 ●米の生産過剰で減反政策を取る。	日本人とユダヤ人 (イザヤ・ベンダサン) 春の坂道 (山岡荘八)	ジーンズ 電子ジャー	●脱サラ ●がんばらなくっちゃ ●ディスカバージャパン	●肝っ玉かあさん ●私の城下町(小柳ルミ子) ●知床旅情(加藤登紀子)
第 4 回 1972(昭47)	●原子時刻を協定世界時として採用。 ●旧電電公社、ファクシミリの送受信に電話回線開放。	●厚生省、難病総合対策発表。 (難病の指定枠を拡大) ●たばこに「健康のため吸いすぎに注意しましょう」と表示することを決定。	●日米沖縄返還協定発効。 ●日中共同声明調印。日中国交正常化成る。 ●パンダ初公開。 ●札幌オリンピック。 ●道交法改正で初心者マーク登場。	恍惚の人 (有吉佐和子) 日本列島改造論 (田中角栄)	マンション カップヌードル	●恍惚の人 ●ナウな ●のんびりゆこうよ ●恥かしながら	●ゴットファーザー ●死刑台のメロディ ●瀬戸の花嫁(小柳ルミ子)
第 5 回 1973(昭48)	●江崎玲於奈氏ノーベル物理学賞受賞。	●老人福祉法一部改正施行。 (70才以上の老人医療無料化)	●円変動相場制に移行。 1\$=271円20銭(48.2.14) ●第1次石油ショック。 (OPECの生産削減、供給制限で石油価格が暴騰。) ●100%資本自由化決定。	日本沈没 (小松左京) 華麗なる一族 (山崎豊子)	ゴキブリホイホイ 電気餅つき器	●お客さまは神さまです ●じっと我慢の子 ●日本沈没	●北の家族 ●仮面ライダー ●刑事コロンボ ●草原の輝き(アグネスチャン)

大会年度	科 学 技 術	医 学 ・ 医 療	一 般 社 会	出 版 物	ヒット商品	流 行 語	テレビ・映画 ヒットソング
第 6 回 1974(昭49)	●原子力船「むつ」母港を出発、放射線漏れで運転中止。 ●ヒューレット・パッカード社(米)ガリウム・ヒ素集積回路を開発。 ●ICの完全自由化。	●HB抗原がDNA型ウイルスであることを確認。(志方ら) ●ガン治療で「免疫療法」が進む。	●狂乱物価。 ●佐藤栄作前首相ノーベル平和賞受賞。 ●国土庁発足。 ●省エネ対策進む。	カモメのジョナサン (リチャード・バック) ノストラダムスの大予言 (五島勉)	オセロ ジグソーパズル	●諸悪の根元 ●それはいえる ●日記には書いておこう	●エマニエル夫人 ●襟裳岬 (森進一)
第 7 回 1975(昭50)	●ソ連、自動惑星間ステーション「金星9・10号」金星(ビーナス)に軟着陸。 ●核融合研究体制整う。	●川崎病急増。(これまでの患者1万人) ●日本臨床病理同学院設立。	●経企庁、49年度GNP前年比0.6%減、戦後初のマイナス成長と発表。 ●ベトナム戦争終結。 ●第12回国勢調査 111,933,818人。 ●沖縄国際海洋博始まる。	複合汚染 (有吉佐和子) 収容所列島 (ソルジェニーツイン)	紅茶きこ 使い捨てライター	●ひと味がいます ●わたし作る人ぼく食べる人 ●おじゃま虫	●欽ちゃんのドンとやってみよう ●ジョーズ ●およげ/たいやきくん (子門真人) ●シクラメンのかほり (布施明)
第 8 回 1976(昭51)	●内閣に地震予知推進本部を設置し、地震予知体制をつくる。	●鹿児島に五つ子誕生。 ●大腿四頭筋拘縮症の原因は安易な注射と発表 (日本小児科学会)。 ●臨床病理学会日本医学会への加入承認される。	●ロッキード事件起こる。 ●偏差値時代。 ●ソ連 200カイリ漁業専管水域設定を布告。 ●新幹線「こだま」に禁煙車登場。	毎日が日曜日 (城山三郎) 限りなく透明に近いブルー (村上龍)	がん保険 女性用ブーツ	●金権政治 ●はしゃぎすぎ ●記憶にございません	●愛のコリーダ ●北の宿から (都はるみ) ●ペッカー警部 (ピンク・レディー)
第 9 回 1977(昭52)	●日本初の静止衛星「さく2号」打上げ。 ●細胞融合で耐病性・味のよいタバコの新品種開発 (旧日本専売公社中央研究所) ●ポテトとトマトの雑種を細胞融合で作る。ポマトと名命。(メルヒヤース・西独) ●リニアモーターカー浮上実験に成功。(日向市・旧国鉄実験線)	●健康づくり対策 (厚生省)。	●東京大学、創立100年記念(4.12) ●曲尺・鯨尺の製造販売を許可する。(34年、メートル法に統一) ●サラ金破産者の会結成。	人間の証明 (森村誠一) ルーツ (A・ヘイリー)	布団乾燥機 カラオケ	●落ちこぼれ ●ルーツ ●話がピーマン	●幸福の黄色いハンカチ ●宇宙戦艦ヤマト ●雨やどり (さだまさし) ●津軽海峡冬景色 (石川さゆり)
第 10 回 1978(昭53)	●日本語ワープロ登場。	●はしかの予防接種義務化。 ●遺伝子組換え技術でもって、ヒト・インシュリンの合成に成功。(シティ・オブ・ホープ医学センター(米)の板倉ら)	●日中平和友好条約調印。 ●禁煙、嫌煙運動が盛かんに。 ●新東京国際空港開港。	不確実性の時代 (ガルブレイス) 頭のいい税金の本 (野末陳平)	TVゲーム サバンナR-X-F	●窓際族 ●逆転の時代 ●嫌煙権	●キタキツネ物語 ●スターウォーズ ●君のひとみは一万ボルト (アリス)

大会年度	科 学 技 術	医 学 ・ 医 療	一 般 社 会	出 版 物	ヒット商品	流 行 語	テレビ・映画 ヒットソング
第 11 回 1979(昭54)	●IBM 4300発表。 (第4世代コンピュータ時代の開幕。) ●旧国鉄・リニアモーターカーの走行テストで 時速504km記録。	●薬事二法案成立。 (新薬の承認基準が厳しくなる) ●WHO 天然痘終息を宣言。	●共通一次学力試験開始。 ●元号法案可決「昭和」以後も元号が続くこと になる。 ●ガソリンスタンドの日曜祝日全面休業へ。 ●東京サミットが開催。	ジャパン・アズ・ ナンバーワン (ヴォーゲル) 天中殺入門 (和泉宗章)	超音波美顔器 35ミリ自動焦点カ メラ	●インベーダー ●ウサギ小屋 ●省エネ	●銀河鉄道999 ●エイリアン ●関白宣言 (さだまさし) ●魅せられて (ジュディ・オング)
第 12 回 1980(昭55)	●世界最大のヘリオトロン装置完成。(京大) ●天気予報に確率予報を導入。	●食品の殺菌・漂白に過酸化水素の使用を禁止。 (厚生省) ●遺伝子組かえてヒト・インターフェロン量産 に成功。(癌研)	●第13回国勢調査 117,057,485人。 ●北京からパンダ上野動物園に寄贈。 (ホアンホアン) ●第二次石油ショック。	項羽と劉邦 (司馬遼太郎) 蒼い時 (山口百恵)	ウォークマン ルービックキュー ブ	●クレーマー家庭 ●竹の子族 ●カラスの勝手に しょ	●シルクロード ●クレイマー・ クレイマー ●雨の慕情 (八代亜紀) ●贈る言葉 (武田鉄矢)
第 13 回 1981(昭56)	●京大福井謙一教授ノーベル化学賞受賞。 ●太陽熱発電成功。(香川県) ●通産省、第5世代コンピュータ構想を発表。	●診療報酬のうち検査料大巾に変更。(マルメ導 入) ——医療費の抑制始まる—— ●核移植で三匹のマウス(クローン動物)を作 る。(イルメンゼー(スイス))	●神戸ポートアイランド博覧会(ポートピア81) 開幕。 ●行財政改革に関する第一次答申(臨時行政調 査会)、(老人医療無料制の廃止等)。 ●ヤンバルクイナ(学名 ラルス・オキナワエ)発 見(沖縄本島与那覇岳原生林)	窓ぎわのトットち ゃん (黒柳徹子) なんとなくクリス タル (田中康夫)	ダウン(羽毛)もの パソコン	●クリスタル族 ●はちのひとさし ●ぶりっ子	●おんな太閤記 ●エレファントマ ン ●スニーカーぶる ーす (近藤真彦)
第 14 回 1982(昭57)	●音声多重放送開始。 ●旧国鉄のリニアモーターカー、世界で初の有 人浮上走行に成功。 ●コンピュータのプログラムは著作物に当たる という初めての判断を示す。(東京地裁)	●老人保健法公布。 ●遺伝子組かえて作られたインシュリン発売。 (アメリカ) ●日本医師会長・武見太郎氏引退。 (昭和32年就任23年続く)	●校内暴力急増。 ●500円硬貨発行。 ●東北・上越新幹線開業。 ●行財政改革第二次答申(国鉄・電々、専売の 分割民営化)。	悪魔の飽食 (森村誠一) 吉里吉里人 (井上ひさし)	ボカリスエット ツーピースボール	●風見鶏 ●心身症 ●ネクラ・ネアカ ●ほとんどビョー キ	●蒲田行進曲 ●E・T ●ブッシュマン ●聖母たちのララ バイ (岩崎宏美)
第 15 回 1983(昭58)	●わが国初の実用静止通信衛星「さくら2号a」 打上げ。	●わが国初の体外受精児誕生。(東北大学)	●サラ金規制二法案成立。 ●大韓航空機撃墜事件。 ●東京ディズニーランド開業(千葉県浦安市)。	写真週刊誌 「フォーカス」 探偵物語 (赤川次郎)	東京ディズニーラ ンド 焼酎	●いいとも ●おしん ●気くばり ●やるっきゃない	●おしん ●戦場のメリーク リスマス ●矢切の渡し (細川たかし)

大会年度	科 学 技 術	医 学 ・ 医 療	一 般 社 会	出 版 物	ヒット商品	流 行 語	テレビ・映画 ヒットソング
第 16 回 1984(昭59)	- 旧電電公社 I N S 実験開始。(三鷹市) - 衛星放送開始。 「陽子崩壊」の現象をつかまえる。	- 健保法改正。医療費の抑制が強化。(本人9割、退職者医療制度) - 厚生省、衛生3局組織改革。 - からし蓮根で11人死亡。 - 厚生省「人口白書」発表。 - 日本人の平均寿命 男 74.2才 女 79.8才	- 新札発行(1万円、五千元、千円) - グリコ・森永脅迫事件。 - オーストラリアからコアラが来る。	金魂巻 (渡辺和博) 愛のことく (渡辺淳一)	ゴルフ宅急便 電子体温計・血圧計	- パフォーマンス - くれない族 - 金・金	- お葬式 - おはん - 長良川艶歌 (五木ひろし)
第 17 回 1985(昭60)	- 国産初の大型ジェット機「飛鳥」が試験飛行に成功。 - 日本人宇宙飛行士の誕生。(毛利、土井、内藤さんら3人)	- 新しい脳死の判定基準発表。(厚生省) - 医療法改正。(地域医療計画) - 国産初の遺伝子組換えB型肝炎ワクチンの臨床試験を開始。	- 阪神優勝フィーバー。 - つくば科学博開幕。 - 放送大学開校。 - いじめ多発。 - 日本電信電話(N T T)、日本たばこ産業発足。 - 男女雇用機会均等法公布。 - 第14回国勢調査 121,048,923人 昭和生れが1億人を越える。	アイアコッカ (アイアコッカ) マネー雑誌	ミノルタα-7000 禁煙用パイプ	- イッキ - タイガースフィーバー - やらせ・いじめ	- 濡つくし - 乱 - 俺あ東京さいぐだ (吉幾三)
第 18 回 1986(昭61)	- スペースシャトル「チャレンジャー」空中爆発。 - 世界最大の電子、陽電子型加速器「トリスタン」が初実験に成功。(高エネルギー物理研究所)	- エイズ禍世界に広がる。 - 男女「産み分け」実現。(慶応大) - 国民年金法改正。(基礎年金導入) - 老人保健法改正。(負担引き上げ、老人保健施設) - 組換え技術応用医薬品製造のための指針(厚生省)	- ハレーすい星地球に大接近。 (ハレーブームにわく。) - 円急騰。1\$ = 153円台。 - 都心地価急騰。	マンガ日本経済入門 (石ノ森章太郎) 知価革命 (堺屋太一)	テレフォンカード ファミコン	- 新人類 - 変体少女文字 - 義理チョコ	- はね駒 - 子猫物語
第 19 回 1987(昭62)	- 世界で初めて「ニュートリノ」をつかまえる。(神岡鉱山地下1,000m)、マゼラン星雲に超新星が出現。 - 新素材による高温超電導物質開発ブーム。 - 利根川進教授ノーベル医学生理学賞受賞。	「喫煙と健康」報告書発表。(厚生省・たばこ白書) 「脳死に関する見解」を発表。(日本学会会議) - 国民医療総合対策本部中間報告発表。	- 青函トンネル開通。 - 農産物の自由化など日本市場の開放を強く要求される。 1\$ = 123円台(12月末)	サラダ記念日 (俵万智) 塀の中の懲りない面々 (安部譲二)	家庭用パン焼器 スーパードライ	- 財テク - 地上げ屋	- 伊達正宗 - マルサの女 - アンタッチャブル
第 20 回 1988(昭63)		「脳死と臓器移植についての最終報告」を答申。(日本医師会・生命倫理懇談会) 従来の心臓死のほかに脳の死(不可逆的機能喪失)をもってその人間の個体死と認めてよい。 - 診療報酬改定。検査料の抜本的改定を行う。(検体検査は判断料と実施料に分離) - 遺伝子組換えHBワクチンの販売許可。	- 本四連絡瀬戸大橋開通。 1\$ = 132円台(8月初め)	ノルウェーの森 (村上春樹)	中国産育毛剤101 (101毛髪再生精) ひまわり商品		- テレビで報道番組ブーム - ラストエンペラー

出展会社と来場者の推移



担当業務委員一覧

	担当業務委員
第1回大会 1969(昭44)	テクニコン ヤトロ
第2回大会 1970(昭45)	テクニコン 中外製薬
第3回大会 1971(昭46)	テクニコン 日立製作所
第4回大会 1972(昭47)	ニ光機材 セントラル科学貿易
第5回大会 1973(昭48)	今井 省吾 (東芝メディカル) ト部 健 (安部商事) 長藤 昭正 (日立製作所) 物井 恵一 (第一化学薬品) 山田 博 (関東化学)
第6回大会 1974(昭49)	今井 省吾 (東芝メディカル) ト部 健 (安部商事) 龍池 哲男 (島津製作所) 玉井 哲男 (島津製作所) 長藤 昭正 (日立製作所) 物井 恵一 (第一化学薬品) 山田 博 (関東化学)
第7回大会 1975(昭50)	ト部 健 (安部商事) 和田 春雄 (島津製作所) 杉村 泰男 (島津製作所) 山田 博 (関東化学) 松井 三郎 (藤沢メディカルサプライ) 水野 昇 (片山化学工業) 長藤 昭正 (日立製作所) 泉谷千代明 (和光純薬工業)
第8回大会 1976(昭51)	佐野 洋二 (日科機) 新村 哲也 (オリンパス光学工業) 西山 英大 (三光純薬) 和気 栄一 (中外製薬)
第9回大会 1977(昭52)	上島 英雄 (菅垣医理工工業) 佐野 洋二 (日科機) 新村 哲也 (オリンパス光学工業) 西山 英大 (三光純薬) 山田 光男 (長瀬産業) 吉野 稔 (ペーリンガー・マンハイム・山之内) 和気 栄一 (中外製薬)
第10回大会 1978(昭53)	赤羽 信一 (日本電子) 川口 正介 (栄研化学) 内藤 聡 (日本テクニコン) 松本 仁人 (中外製薬) 山田 光男 (長瀬産業)
第11回大会 1979(昭54)	泉谷千代明 (和光純薬工業) 岩谷 勲 (和光純薬工業) 福島 育郎 (島津製作所) 今西 富夫 (島津製作所) 福田 悦磨 (国際試薬) 松井 三郎 (藤沢メディカルサプライ) 水野 昇 (片山化学工業) 藪内 弘 (安部商事)

	担当業務委員
第12回大会 1980(昭55)	川口 正介 (栄研化学) 福島 育郎 (島津製作所) 山田 博 (関東化学) 山田 光男 (長瀬産業) 横山 和人 (東芝メディカル)
第13回大会 1981(昭56)	川口 正介 (栄研化学) 福島 育郎 (島津製作所) 山田 博 (関東化学) 山田 光男 (長瀬産業) 横山 和人 (東芝メディカル)
第14回大会 1982(昭57)	川口 正介 (栄研化学) 裨圃 賢輔 (和光純薬工業) 福島 育郎 (島津製作所) 山田 博 (関東化学) 山田 光男 (長瀬産業) 横山 和人 (東芝メディカル)
第15回大会 1983(昭58)	川口 正介 (栄研化学) 裨圃 賢輔 (和光純薬工業) 福島 育郎 (島津製作所) 山田 博 (関東化学) 山田 光男 (長瀬産業)
第16回大会 1984(昭59)	川口 正介 (栄研化学) 河村 俊郎 (和光純薬工業) 中島 幸男 (東亜医用電子) 山川 崇 (島津製作所) 山田 博 (関東化学) 山田 光男 (長瀬産業)
第17回大会 1985(昭60)	田中 俊一 (和光純薬工業) 中島 幸男 (東亜医用電子) 本田 徹朗 (日水製薬) 山川 崇 (島津製作所) 山田 博 (関東化学) 山田 光男 (長瀬産業)
第18回大会 1986(昭61)	志賀 助貞 (和光純薬工業) 本田 徹朗 (日水製薬) 山川 崇 (島津製作所) 山田 光男 (長瀬産業) 山本 義晴 (東亜医用電子) 渡辺 楷 (ダイアヤトロン)
第19回大会 1987(昭62)	志賀 助貞 (和光純薬工業) 二木 紘一 (日水製薬) 山川 崇 (島津製作所) 山田 光男 (長瀬産業) 山本 義晴 (東亜医用電子) 渡辺 楷 (ダイアヤトロン)
第20回大会 1988(昭63)	志賀 助貞 (和光純薬工業) 二木 紘一 (日水製薬) 山川 崇 (島津製作所) 山田 光男 (長瀬産業) 山本 義晴 (東亜医用電子) 渡辺 楷 (ダイアヤトロン)

JSCLA